

# 感染症ニュース

No.230 2024/06/28

文責：竹鼻 純子

## <流行中の感染症>

### 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

感染者数は再び増加傾向で、現在の流行株は感染力が強く、過去の感染や複数回のワクチン接種で免疫がある人でも、感染し発症する。今後も高齢者の重症化予防のためのワクチン接種や、高齢者施設などでの徹底した感染予防策の継続は必要である。感染拡大を最小限にするために、普段の生活でも基本的な予防策を継続し、手洗いに加え、特に3密となるような場面ではマスクを着けることが推奨される。

### 溶連菌感染症

発熱、のどの痛み、発疹が主症状で、小児のみならず成人の感染も多く、昨年春から高い水準で流行が続いている。再感染や再発例も多い。経口抗生剤が有効だが、症状が治まっても10日前後服用を続けないと、腎炎などの合併症を併発する。今年は、急速に全身に感染が広がって重症化する劇症型の発生が多く報告されている。

### 手足口病

病原体となるウイルスは何種類もあるが、手のひらや足の裏、口の中や口の周りに水泡が出来、熱が出たり、口の中の痛みのために飲食ができなくなったりして、脱水症になりやすい。ときに、髄膜炎や脳炎を合併することもある。くしゃみや唾液から感染するだけでなく、患者の便中にも1か月ほどウイルスが存在するため、徹底した手洗いが必要。

### アデノウイルス感染症（プール熱、咽頭結膜熱）

昨年から引き続いて高い水準で流行中である。急な発熱が数日続くが、比較的元気なことが特徴で、のどの痛み、眼の充血や目やにを伴うこともある。夏に多いが冬に流行することもあり、一年を通してみられる。感染力が非常に強く、登園・登校禁止にもなる。熱や痛みで飲食できないと脱水症になりやすい。

### 感染性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎の代表であるノロウイルスにはアルコール消毒は無効なので、アルコールによる手指消毒を過信せず、石鹸による手洗いを徹底することも重要。これからの季節は、細菌性の食中毒にも要注意。